

大学コンソーシアム大阪 学生英語プレゼンテーションコンテスト 2021 募集要項



1. 開催概要

日 時：2021年11月28日（日）10：00～17：00

会 場：大阪科学技術センター 8階ホール

（大阪市西区靱本町1丁目8番4号）

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見極めつつ開催内容が変更となる場合があります。

2. 募集対象

大学コンソーシアム大阪の会員大学に在籍する学生、大学院生、留学生

3. 参加単位

2名から4名のグループ

※ゼミやサークル、複数大学にまたがる混合チームなどメンバー構成は不問

4. 発表テーマ

パンデミックがもたらしたニューノーマル（新常态）では、様々な社会課題を自分事として捉えざるをえなくなりました。アフターコロナをきっかけに SDGs 達成を加速することはできないか。コロナ禍、自身が直面した課題から想起し、大阪の学生が取り組み可能な SDGs に沿った社会課題の解決策を提案してください。

5. 表彰

順位	副 賞（グループ全員）
1位	QUO カード 1万円分
2位	QUO カード 5千円分
3位	QUO カード 3千円分
審査員特別賞	

6. 参加費

無料

7. 後援（予定）

大阪府、大阪観光局、留学生支援コンソーシアム大阪

8. 助成

『（公財）中島記念国際交流財団助成』（独）日本学生支援機構留学生地域交流事業

9. 個人情報掲載及び肖像権使用

以下の項目について、大学コンソーシアム大阪 HP や報告集への掲載を予定していることご了承ください。

個人の氏名、所属大学・学部・学年（留学生の場合は国籍含む）、当日の写真、配布資料、成績結果。

10. 問い合わせ先

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪 事務局（国際交流担当）

TEL：06-6344-9560（平日9：30-17：30）

メール：global★consortium-osaka.gr.jp（★を@に変更願います）

【裏面に続く】

11. 応募からコンテストまで

STEP 1 予備選考		
エントリー	応募フォームからエントリー	【動画作成要領】 ・発表概要を4分以内にまとめ、全員が発表すること。 ・著作権侵害について留意すること。 ・発表内容が明瞭に聞こえること。 ※4分を超過した場合は、失格とする。
提出物	動画	
締切日	いずれも9月24日(金)15:00	
動画提出先	大学コンソーシアム大阪ストレージ https://conso-osaka-storage.com/	
審査基準 右記をもとに総合的に審査	応募フォーム内 発表概要	動画
	・テーマに合致しているか。	・テーマに合致しているか。
	・論点がまとめられているか。	・論点がまとめられているか。
	・指定ワード数(100~150ワード)以内でまとめられているか。	・聞き手を意識した発表ができているか。 ・指定時間内にまとめられているか。
QRコード	応募フォーム	ストレージ
		
結果通知	10月8日(金)までに連絡	

STEP 2 コンテストにむけて		
提出物	発表スライド原稿	【留意事項】 ・スライド内にて必ず出典を明記すること ・PDF変換(1ページ1スライド)後、送付する。
締切日	10月29日(金)15:00まで	
提出先	global★onsortium-osaka.gr.jp (★を@に変更願います) 大学コンソーシアム大阪 事務局	

STEP 3 コンテスト当日			
発表形式	・発表時間は20分とする。(プレゼンテーション15分、質疑応答5分) ・使用言語はすべて英語とする。(資料含む) ・プレゼンテーションソフト(パワーポイント等)を使用する。 ・小道具(コスチューム含む)は使用可とする。 ・グループ全員が発言すること。 ・発表内容は自作のものに限る。		
審査基準	Content	テーマに合致しており、独創的で、説得力ある論理展開ができているか。	30点
	Verbal & Non-Verbal Presentation	表現力、声量など聴衆に分かりやすいように伝えているか。	15点
	Impact	聴衆にアピールできているか。	15点
	Visual Presentation	デザイン性、分かりやすさなど、スライドに工夫がされているか。	25点
	Q&A: Effective Response	質問に対して明確な受け答えができているか。	15点

開催趣旨：

国際化が加速的に進むなか、多様な文化や価値観を受け入れ、よりよい国際社会の構築のために自らが考え行動できる「グローバル人材」の育成が急務とされています。大学コンソーシアム大阪では、高い国際意識やコミュニケーションスキルをもつ若者の育成に寄与するため、SDGsをテーマに学生の英語によるプレゼンテーションコンテストを開催します。学生同士がともに学び、大学、学部、学年、国籍を越えた交流や親睦を深めることで学生の国際意識を醸成します。